

ナンバ フロン漏洩検査システム 冷凍冷蔵設備の生産性向上に

ナンバ(長岡市三島新保、☎0258・42・2211)は、フロン漏えい検査システム「フロンキーパー」の訴求を行っている。冷凍冷蔵設備のフロン漏えい対策や、IoT化による生産性向上に寄与する。「第23回オ

ゾン層保護・地球温暖化防止大賞」で環境大臣賞を受賞するなど高い評価を得ている。

を24時間監視できるため、フロン量を適正に保てる。

フロンキーパーは超音波を活用したシステムで、フロンの漏れ量が10%で検知できる点に強みがある。早い段階でフロン漏れを発見することで、コストの削減や安定した稼働の実現につながる。冷凍冷蔵設備のフロン量

フロン漏えいの原因は、目視では確認できないような小さな穴から微量にフロンが漏れ続ける「スロリーーク」が大半という。冷凍機に温度異常が発生した場合、すでに50〜80%のフロンが漏えいしており、運転効率の低下によって電気代の増加



フロン漏えい検査システム「フロンキーパー」

「FOOD FACTORY」に出展し、省エネに寄与する点などを訴求



につながるだけでなく、故障を誘発するリスクも高める。同製品を導入することでこうした問題に対処しやすくなる。

への提案を強化する方針。

ナンバは10月27〜29日に東京ビッグサイト青海展示棟で開催された「FOOD FACTORY」でフロンキーパーを展示。省エネにつながる点、簡単に設置できる点といった同製品のメリットを訴求した。

同製品は食品スーパードニーズを得てきたが、最近では省エネにつながるソリューションの導入に関心が高い食品製造業者から多くの引き合いを獲得している。今後は物流業者